



当社の企業価値の向上及び株主還元に係る施策等に関するお知らせ(概要)

令和3年（2021年）3月1日

日本アジアグループ株式会社

東証一部上場 3751

企業価値向上に向けた施策の概要



当社が直面する経営課題の解決のため、中心的事業会社2社の戦略的売却を通じ、大幅な株主還元を実施後、「第2の創業」を目指す

1

新たな事業体制下で、社会課題の解決を通じた当社ミッションの実現加速、更なる企業価値向上に取り組む

+ 「第2の創業」への挑戦に際し、以下の施策を実施

2

特別配当（300円／株）の実施

3

企業価値の最大化を目的とした
中心的事業会社2社の戦略的売却の検討

4

中心的事業会社2社の売却資金による更なる株主還元の方針

企業価値向上に向けた施策の位置づけ

これまでの株主の皆様からのご支援にお応えするための株主還元を実施
 今後の更なる還元に向けて、「第2の創業」での飛躍・成長にチャレンジ

1

「第2の創業」
 企業価値向上

→ 新事業体制でも、これまで株主の皆様にご賛同いただいていた企業理念を堅持。更なる企業価値の向上を目指す

「第2の創業」に向けて
 (企業理念を更に追求、
 企業価値
 の向上を目指す)

2

特別配当
 (300円/株)の実施

→ 当社の経営理念にご賛同いただいていた株主の皆様への還元

4

中心的事業会社2社の
 売却資金による更なる
 株主還元

→ 中心的事業会社2社の潜在価値を顕在化した上で、大幅な株主還元を予定

3

中心的事業会社2社の
 戦略的売却の検討

→ 新パートナー傘下での2社の成長を通じて企業価値の最大化を図る

「第2の創業」での成長投資にも資金を充当し、更なる飛躍・成長への種まきを行う

これまでの取組み

(“グリーン・コミュニティ”の創造)



「第2の創業」に向けて

「第2の創業」においても経営理念は継承

上場・非上場を問わず、社会課題の解決能力を強化することが、今、地球規模で求められている。**グリーン・コミュニティ創造企業**としての経営理念を継承、拡大し、これに応えることこそ、当社の使命であり、ステークホルダーの皆様への還元である

経営理念

Mission

安心で安全、そして持続可能なまちづくりで社会に貢献
“Save the Earth, Make Communities Green”

Vision

技術革新を先取りし金融との融合を通じて成長する社会企業グループ

Values

Integrity × Imagination × Entrepreneurship
 (誠実なプロであれ) (想像力を持とう) (企業家/起業家精神を持とう)

“グリーン・コミュニティ”の創造を目指し、SDGsや気候変動対策など、社会的活動を積極的に実施

1

持続可能な地球への取り組み

国際的イニシアチブとの連携

- 国連グローバル・コンパクト（国連GC）との連携
 - 当社取締役 呉文繡が国連GCのボードメンバーに就任
 - グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン活動への参加
- パリ協定、仙台防災枠組といった国際的な枠組み作りにも民間企業ながら策定段階から積極的に参画

日本で唯一の
ボードメンバー

2

再生可能エネルギーの パイオニア

海外での太陽光発電の経験の活用

- 固定価格買取（FIT）制度導入に先駆け、国内事業会社で初めて再生可能エネルギー（大規模太陽光）発電に参入
- 電力会社以外で国内初のメガソーラー（出力1,000KW以上）の発電所開発を実施

日本初

3

温暖化対策への 取り組み

温暖化対策長期ビジョンの策定

- 「温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロ」とする長期ビジョンを公表

国連Business Ambition for 1.5°Cへの参加

- 世界の気温上昇を1.5°C未満に抑えることを目指す「国連Business Ambition for 1.5°C」に署名

早期参加

企業理念の実現～これまでの社会的活動実績（詳細）



2011年から**気候変動対策事業**にいち早く取り組み、グリーンインフラ&コミュニティの形成を通じてCSR⇒CSV⇒「社会との共生価値」を追求

再生可能エネルギー開発の先駆者

2009年、固定価格買取制度が導入される2年前に既に再生可能エネルギーの重要性に着目して、欧州の発電所開発に学び、日本で事業会社として初めての大規模太陽光発電所を建設、メガソーラー（宮崎県都農町）を着工、竣工させています。この10年で500MWの発電所の開発を行ってまいりました。



SDG達成への国際的イニシアティブとステークホルダーとの連携

当社は、国連グローバル・コンパクト（UNGC）の趣意に賛同し、2013年の国際航業の署名に続き、2017年に署名しSDGs行動を通じて事業活動の充実を図っております。また、国内のみならず、海外4カ国で太陽光発電所を開設、NEDO、UNIDO等との協力の下、アフリカ3カ国等にて小水力発電所を開設、更には、インドネシア・スマトラ島のマングローブ林の植林や維持管理、REDD+活動に2018年より協力してきております。



既製バッジ JAGオリジナル
バッジ

国連の許可の下、既成バッジより1cm小さいバッジを自らデザイン、一万個制作し、ステークホルダーにも配布



「第2の創業」に挑戦する当社の経営方針

当社が直面する経営課題とは

1

成長資金・経営資源の確保

- 現在の財務状況下、急成長分野へのタイムリーな資金需要に対応が困難
- 成長機会がある一方で、新事業領域を担う経営人財が不足

2

JAG国際エナジーの急成長機会を支援

- 「脱炭素社会」に対応するための投資資金のタイムリーな供給
- 電源の多様化とPost-FITへの対応の緊急性

3

国際航業の経営基盤の強化

- 複雑化した事業構造の中で、経営の見える化や経営人財の育成が必須
- 空間情報事業における省人化/デジタル化の重要性の高まり

4

その他事業の育成と成長

- 森林活性化事業の本格成長
- XACTIの事業変容の実現
- 太陽光以外の「再生エネルギー事業」は早期収益化

経営課題への対応方針

- ① 企業価値の最大化に向けた中心的事業会社2社の戦略的売却
- ② その他事業の抜本的改革を通じた飛躍的成長にチャレンジ

1

売却対象事業 成長投資・経営資源が必要な中心的事業会社2社を戦略的に売却、成長余力を最大限引き出し、企業価値の顕在化を目指す

JAG国際エナジー

- 太陽光発電事業では、新設需要が低減、当初程の採算性も期待しにくい再生可能エネルギーの主力電源化もあり、引き続き積極開発
- 成長が見込まれる再生可能エネルギー（バイオマス・風力発電等）への積極投資

国際航業

- 省人化やデジタル化の流れに対応し、蓄積されたデータやその解析を通じたソリューションを提供
- 強みの源泉である技術力や人材力の磨き上げ、事業基盤の更なる強化

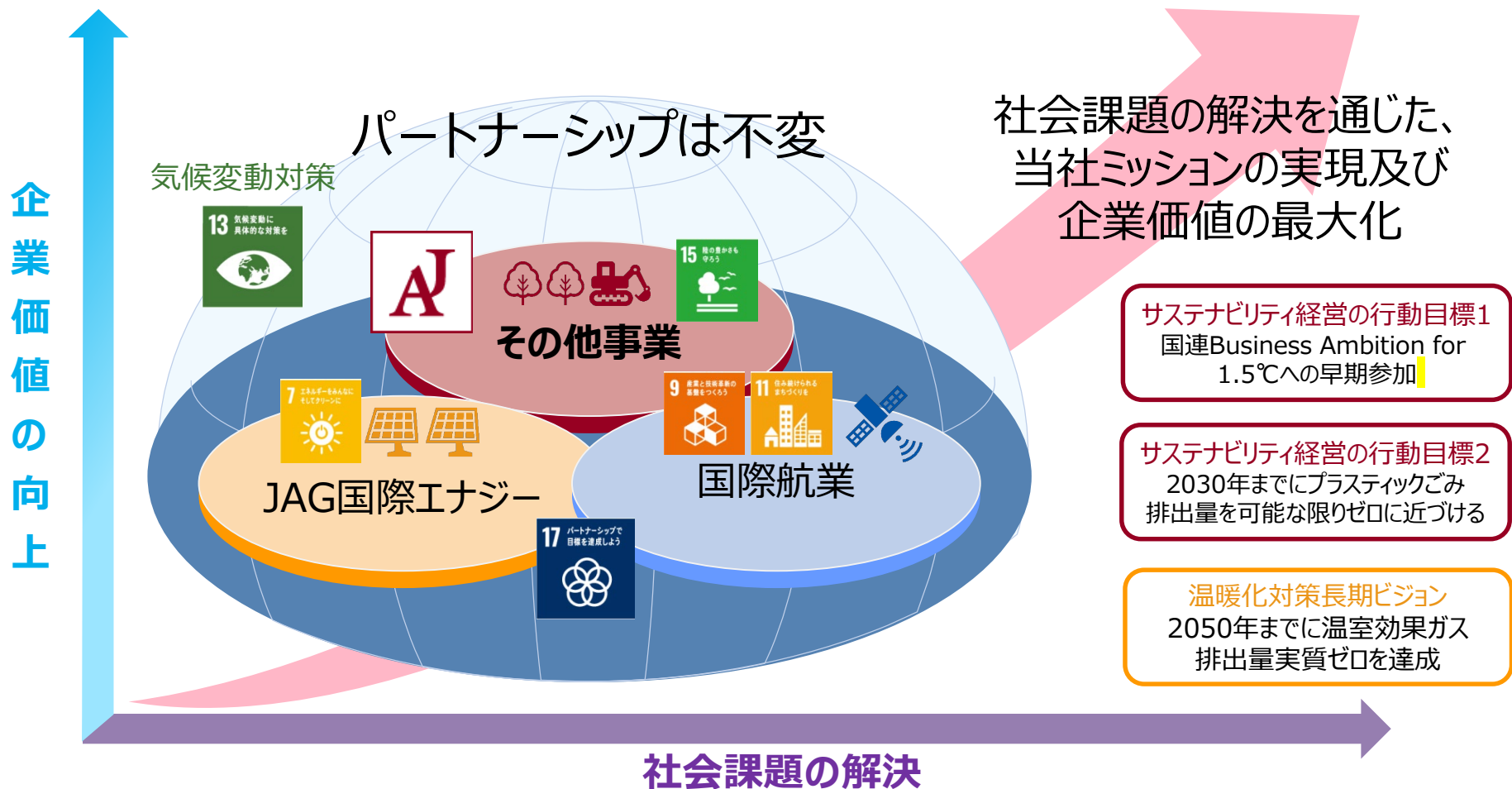
2

その他事業

- ✓ イメージ・センシング事業の推進
- ✓ 森林事業の生産性向上、スマート林業の本格推進
- ✓ 小水力/小型バイオマス等の再生可能エネルギー事業の早期収益化

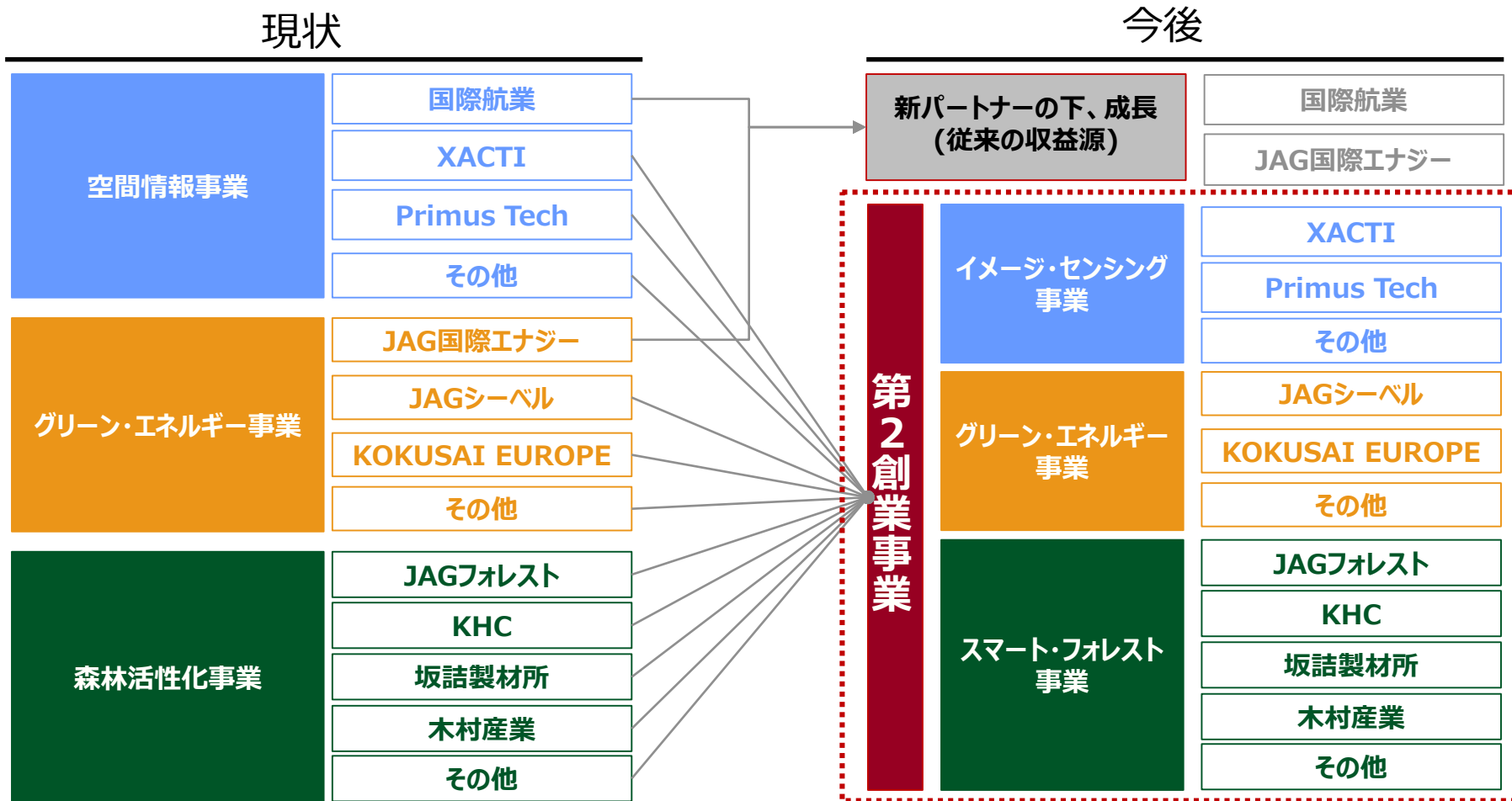
企業価値向上に向けた方針

中心的事業会社2社の戦略的売却後も**パートナーシップ体制を継続してシナジーを最大化、社会課題の解決を通じて当社の全ステークホルダーにとっての価値の総和の最大化を目指す**



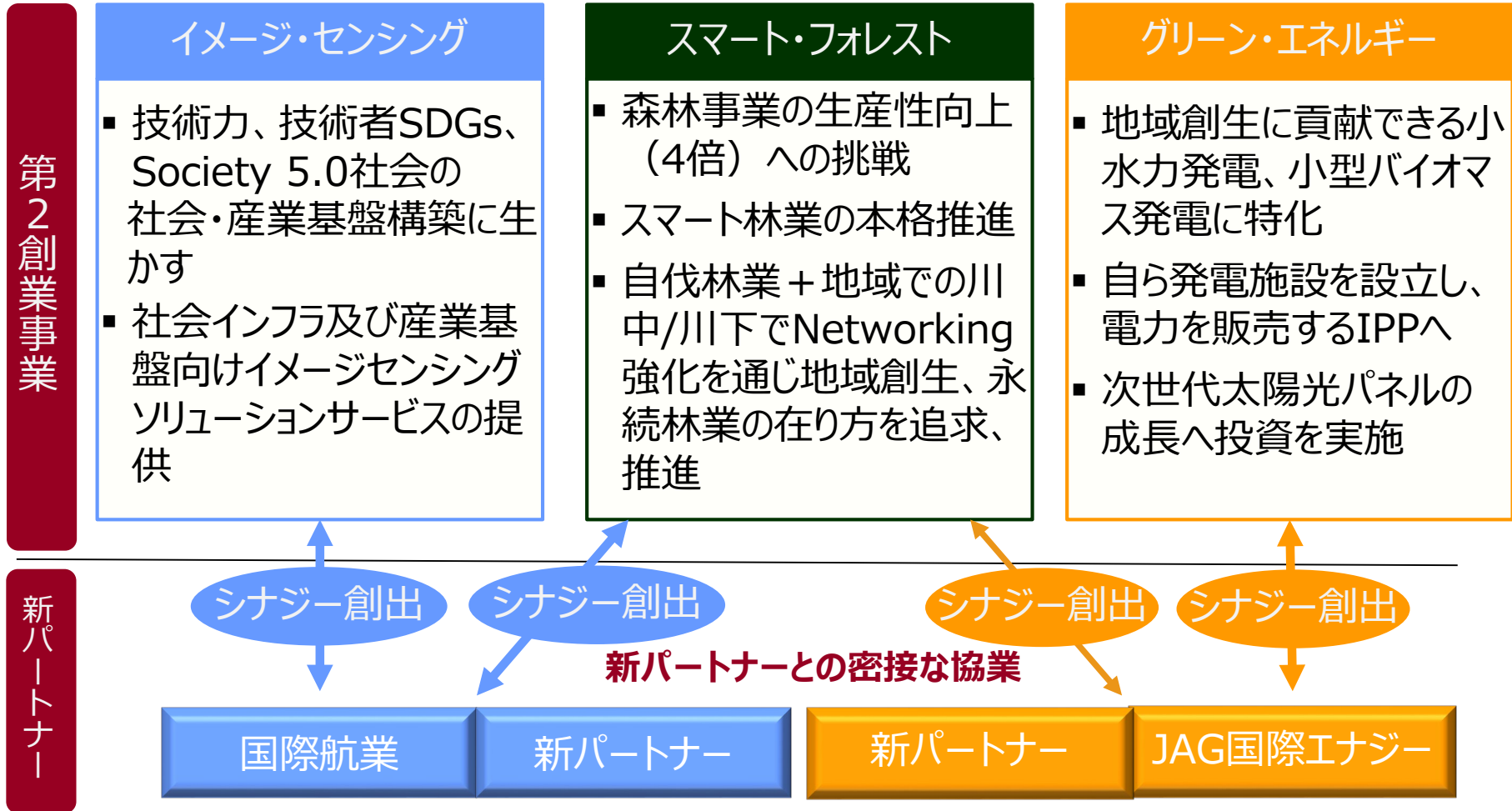
「第2の創業」における事業セグメント

- 国際航業、JAG国際エナジーは新パートナーの下で成長を図る
- その他の事業を『第2創業事業』とし、成長/発展を目指す
- 「空間情報」は『イメージ・センシング』、「森林活性化」は『スマート・フォレスト』へ



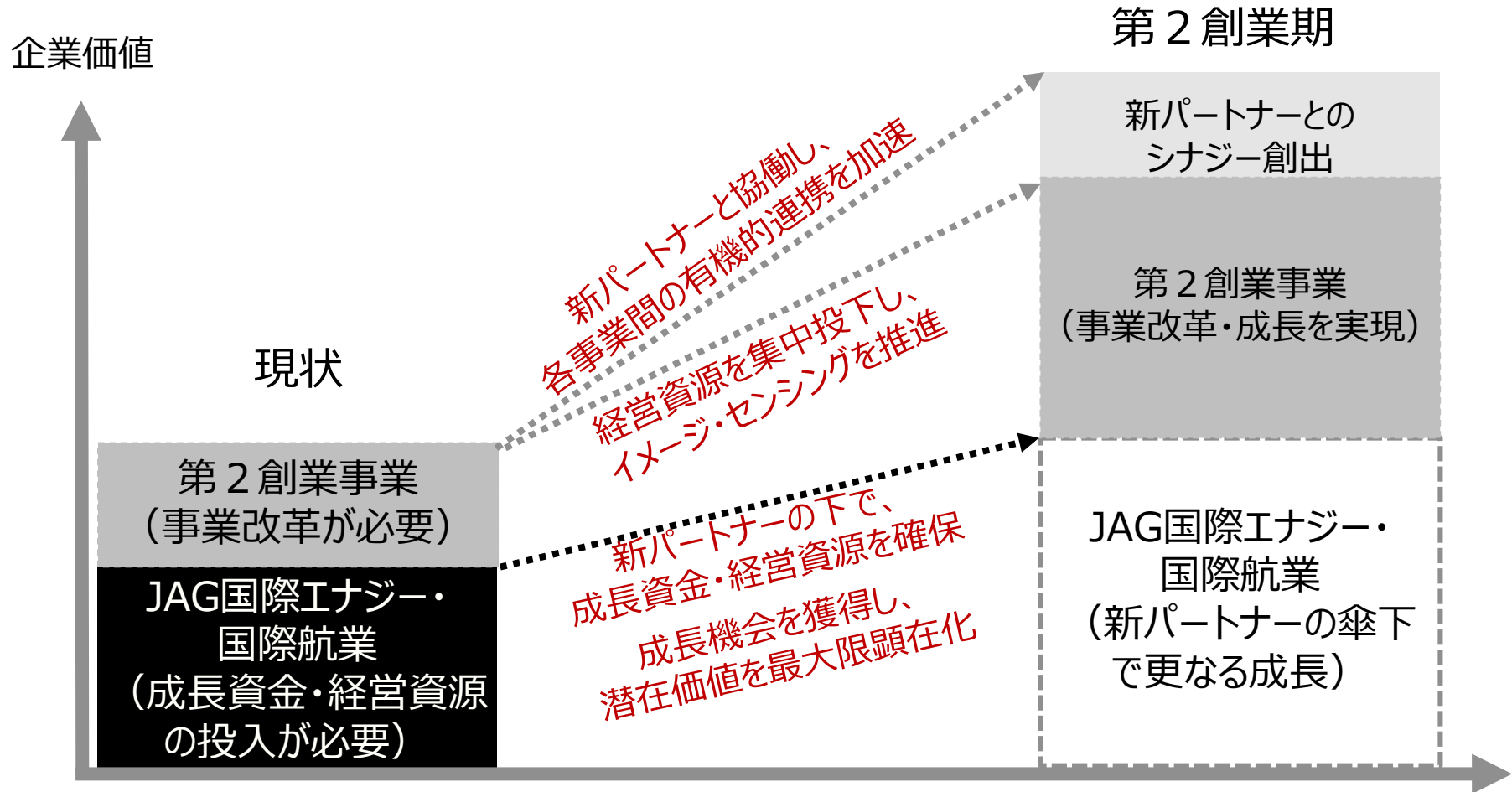
「第2創業事業」の方向性

- 地球規模で「Save the Earth, Make Communities Green」を実現する
- **社会価値追求型の新たなベンチャー**の精神で育成・成長を目指す
- 従来セグメントの骨格は維持し、**選択と集中**を行い、**経営資源を注力分野へ**



企業価値向上のイメージ

中心的事業会社の戦略的売却と新たなパートナーシップを通じた第2創業事業の成長、そしてシナジー創出により、企業価値及び株主共同の利益の最大化を目指す

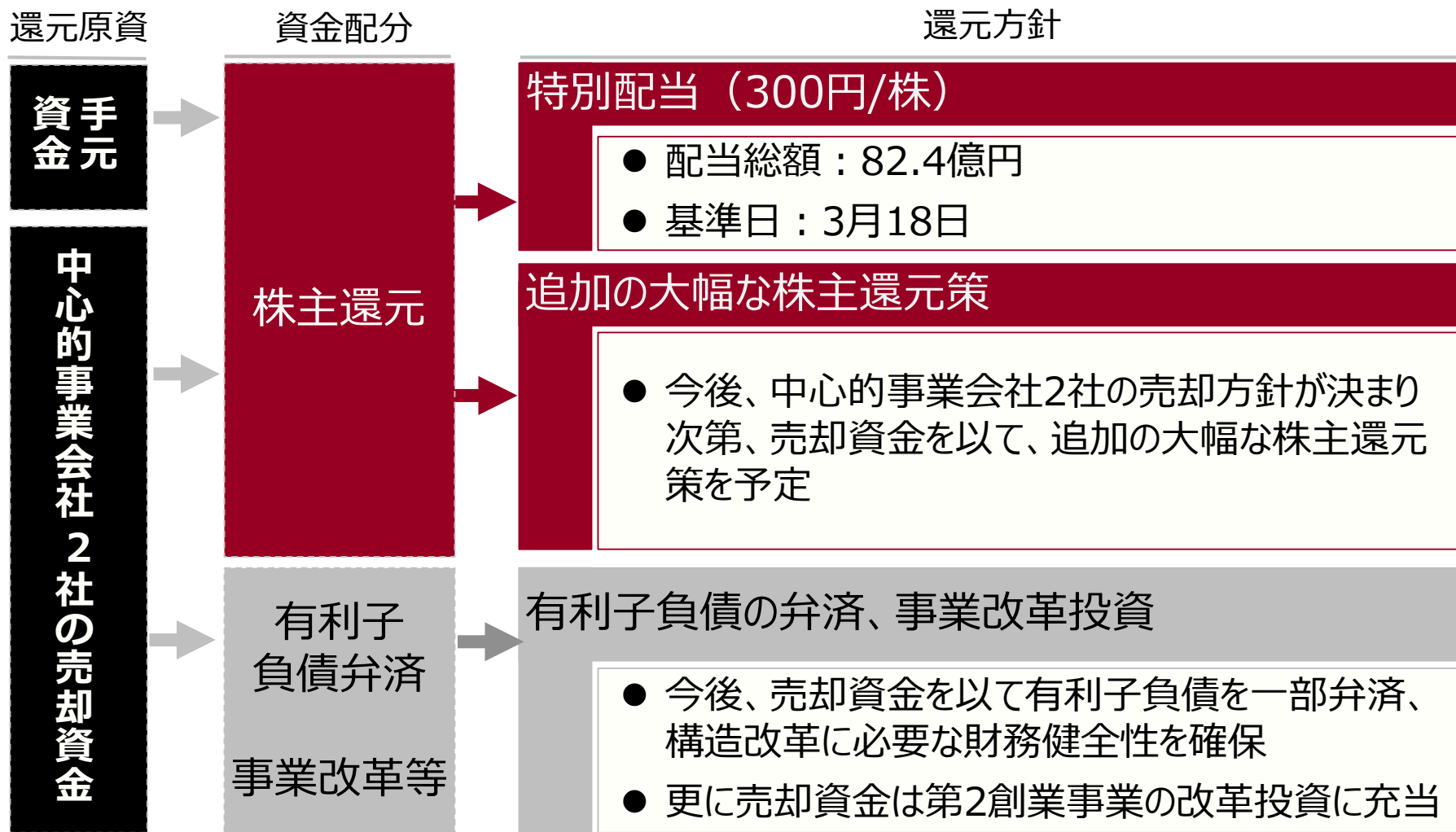




株主還元について

株主還元方針

中心的事業会社2社の戦略的売却を通じて、株主に大幅な還元策を予定



「第2の創業」においても、株主、顧客、取引先、役職員その他の“**全てのステークホルダー**”にとっての**価値の総和**”を、当社の「**企業価値**」と位置づけ、その向上に取り組んでまいります

